

令和 7 年度

熊本県立大学 総合管理学部

総合管理学科

一般選抜(後期日程) 個別学力検査

小 論 文

問 題 用 紙

- (1) 問題用紙は、この表紙を含めて14ページあります。
- (2) 問題は、全部で4問（問題1から問題4まで）あります。4問すべてに答えなさい。
- (3) 解答用紙の指定の欄に、受験番号、氏名を記入しなさい。
- (4) この問題用紙及び下書き用紙は持ち帰って結構です。

末尾に問題訂正の内容を添付しています。
(当日配付または板書により周知したもの。)

(入試問題は、4 ページからです。)

(入試問題は、4 ページからです。)

問題1 資料1を読んで、以下の(1)から(3)の問いに答えなさい。

- (1) 下線部(A)(B)の漢字の読みをカタカナで書き、下線(C)から(E)のカタカナを漢字で書きなさい。
- (2) 二重下線部により、KAPOK KNOT が取り組んでいることは何か、本文中の言葉を使って述べなさい。
- (3) 本文中の日本企業の事例を読み、どのようなビジネスが新しいラグジュアリーにあてはまるか、本文中の言葉を使って述べなさい。

問題2 資料2を読んで、以下の(1)から(4)の問いに答えなさい。

- (1) 本文中にある209,000円は、何の金額か日本語で答えなさい。
- (2) 本文中にある4分野から1つ選び、その分野の支援として必要なことを本文中から抜き出し、和訳しなさい。
- (3) 二重下線部が支援に繋がる可能性のある分野はどれか、本文中にある4分野から1つ選び、その分野を選んだ理由を述べなさい。
- (4) 二重下線部において最も人気を集めた活動は何か、具体的な活動内容を述べた箇所を本文中から抜き出し、和訳しなさい。

問題3 資料3-1から資料3-5を読んで、以下の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 資料3-1は、過去1年間(2023年)の訪日外国人の滞在日数を示すグラフである。4～6日間の棒グラフをみると、アジア地域が他の地域に比べて大きい値を示している。この結果に対する他の資料を踏まえた考察として不適切な記述を、以下の①～⑧からすべて選び、記号で答えなさい。
 - ① 資料3-2では、アジア地域の40歳未満の訪日外国人の割合が他の地域に比べて低い。よって、若年層が長期滞在した結果だと考えられる。
 - ② 資料3-2では、アジア地域の40歳未満の訪日外国人の割合が他の地域に比べて低い。よって、若年層が短期滞在した結果だと考えられる。
 - ③ 資料3-3では、アジア地域の訪日外国人の来訪回数が多い人の占める割合が他の地域に比べて高く、複数回来訪する傾向にある。よって、長期滞在より短期滞在が主流である結果だと考えられる。
 - ④ 資料3-3では、アジア地域の訪日外国人の来訪回数が多い人の占める割合が他の地域に比べて低く、複数回来訪する傾向にある。よって、短期滞在より長期滞在が主流である結果だと考えられる。
 - ⑤ 資料3-4では、アジア地域の訪日外国人による観光地の土産店の利用率は他の地域より低く、ドラッグストア、空港の免税店の利用率は高い傾向にある。よって、ショッピング目的の短期滞在が多い結果だと考えられる。
 - ⑥ 資料3-4では、アジア地域の訪日外国人による観光地の土産店の利用率は他の地域より高く、ドラッグストア、空港の免税店の利用率は低い傾向にある。よって、ショッピング目的の短期滞在が多い結果だと考えられる。

- ⑦ **資料3-5**では、アジア地域における自然・景勝地観光と日本の歴史・伝統文化体験の項目は他の地域に比べて高い数値であり、ショッピングの項目は同程度の数値である。よって、自然・景勝地観光と日本の歴史・伝統文化体験の目的で短期滞在している結果だと考えられる。
- ⑧ **資料3-5**では、アジア地域における自然・景勝地観光と日本の歴史・伝統文化体験の項目は他の地域に比べて低い数値であり、ショッピングの項目は同程度の数値である。よって、ショッピング目的で短期滞在している結果だと考えられる。
- (2) AIチャットサービスを使用して、以下のとおり、各地域の訪日外国人を対象とした取り組みを3案ずつ提案してもらった。AIの回答結果の中から、あなたが訪日外国人を増やすために最も有用だと考える取り組み案を地域ごとに1つ選択して番号で答えなさい。また、各案の選択理由について、**資料3-5**を参考にそれぞれ述べなさい。
- 〈AIの回答〉
- アジア地域向け：1. 地元の伝統文化体験、2. 地元の食事体験、3. アニメ・マンガの聖地巡礼
- 欧州地域向け：4. 歴史的な観光地の案内、5. 日本酒の醸造体験、6. 山岳キャンプ
- 北米地域向け：7. 日本の伝統的な祭り、8. スポーツイベント、9. 日本のアート体験

問題4 **資料1**から**資料3**を参考にして、新しいラグジュアリーを考慮した新たなインバウンドの取り組みを提案しなさい。また、その提案内容が新しいラグジュアリーとして有効な取り組みである理由について、各資料を適切に引用しながら具体的に述べなさい。

資料 1

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) 安西洋之(著)、中野香織(著)「新・ラグジュアリー 文化が生み出す経済 10の講義」、株式会社クロスメディア・パブリッシング(株式会社インプレス)、2022年、p 93、94、p 148-153より一部抜粋

資料 2

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) Yukana Inoue, “Japan wants you to spend more with ‘luxury tourism’”, The Japan Times, April 26, 2024.

・ affluent	裕福な、金持ちの
・ lesser	より小さい
・ authentic	本物の、正真正銘の
・ craftsmanship	職人の技
・ surpass	上回る、超える
・ consecutive	連続した、連続的な、継続的な
・ demographic	商品の購買層、商品販売のターゲット層
・ comprise	包含する、占める
・ perspective	見方、視点
・ strategically	戦略的に
・ official in charge	担当職員
・ marketable	市場性のある、売れる
・ accessible	行きやすい、アクセスしやすい
・ high-end	高所得の
・ human resources	人的資源
・ hospitality worker	接客サービス業従業員
・ prospective	将来の、予想される
・ infrastructure	基盤、インフラ
・ tackle	取り組む
・ showcase	展示（紹介）の場
・ feedback	反応、意見、評価
・ familiarization trip	（観光誘致促進のための）現地視察ツアー
・ interaction	交流

資料3-1

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

資料3-2

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

資料3-3

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

資料3-4

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

(出典) 訪日外国人消費動向調査 集計表 2023年(令和5年)暦年【確報】をもとに作成
(<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001734816.xls>)

問題の訂正

総合管理学部 総合管理学科

小論文

【問題訂正】

○問題用紙 5ページ 問題3 (1) の記述⑦及び⑧について、
以下の下線部のとおり、文言を訂正します。

⑦ 誤) 資料 3-5 では、アジア地域における自然・景勝地観光と日本の歴史・伝統文化体験の項目は他の地域に比べて高い数値であり、ショッピングの項目は同程度の数値である。

正) 資料 3-5 では、アジア地域における自然・景勝地観光と日本の歴史・伝統文化体験の項目は他の地域に比べて高い数値であり、ショッピングの項目は同程度の数値である。

⑧ 誤) 資料 3-5 では、アジア地域における自然・景勝地観光と日本の歴史・伝統文化体験の項目は他の地域に比べて低い数値であり、ショッピングの項目は同程度の数値である。

正) 資料 3-5 では、アジア地域における自然・景勝地観光と日本の歴史・伝統文化体験の項目は他の地域に比べて低い数値であり、ショッピングの項目は同程度の数値である。